

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート（平成24年5月分）

氏名：田村陽子（広島県立広島北特別支援学校）
現地勤務先：キト市役所教育課

○平成24年2月～平成24年4月の出来事

平成24年5月 第4号

Gracias!（スペイン語でありがとう!）

みなさん、お元気ですか？4月から新学期が始まりましたね。エクアドルでは、6・7月が試験期間で、7月の中旬から休みに入り、9月から新学期が始まります。

4月は、一年間で一番よく雨が降る時期だったので、毎日のように午後から夜にかけて雨が降り寒い日が続いていました。雨は、道が川のようになるほど降っていました。

また、4月にはセマナサンタという行事があり、紫の衣装を着た人たちが町を練り歩いたり、ファネスカという伝統的なスープを食べたりしました。キリスト教徒の多いエクアドルでは、セマナサンタの行事をととても大切にしています。しかし、日本と同じように、都市部において、伝統的を守る人たちが減ってきているのが現状です。



キトの旧市街のパレードの様子です。たくさんの方が来ていました。



ファネスカは、色々な穀物を煮て作ります。

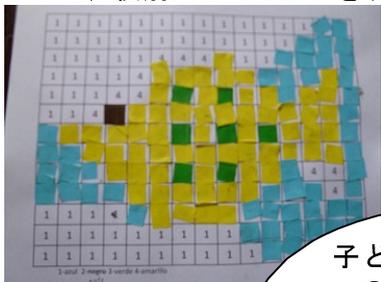
今回は、2月から4月の活動を報告します。

<子どもたちとの活動>

各学校には、教育心理士、心理士、ソーシャルワーカーが働いています。

私は、キト市立の学校を順番に回り、色々な困難を抱えてる子どもたちが、少しでも色々なことにチャレンジできるように、教育心理士と一緒に話をし、一番いい方法は何かを考えて、担任の先生に提案しています。

また、個別に色々な訓練をすることもあります。個別訓練の作品を少し紹介します。



子どもたちはコラッシュの活動が大好き！
これまで、ケーキ、花、魚等を作ってきました。



エクアドルにも折り紙があり、本屋には折り紙の本が置いてあります。

＜子どもたちがたくさん活動できる活動の提案＞

必要な支援を受けることができずに大きくなった子どもたちは、様々な問題を抱えながら生活しています。そこで、少しでも小さいうちから、特別な支援が必要な子どもたちが、必要な支援を受けながら色々な活動にチャレンジできるようにとの願いを込めて、幼稚園の先生、小学校の低学年を担当している先生を対象に研修会を開いて、様々な活動を提案しています。



この研修会は、幼稚園の先生が対象でした。折り紙、貼り絵、フィンガーペインティング（指に絵の具をつけて色を塗る）等の活動を紹介した後、実際にみんなで活動し、活動の楽しさを体験できるように研修会を組み立てました。

好きな色の折り紙で犬を作り、模造紙にそれぞれの犬を貼りました。

その後、みんなの前で発表。例えば、「私の犬、ペリーは、公園で遊ぶのが大好きです・・・」



＜地域での活動＞

日本では、学校の単位で色々な活動をする事が多いと感じていますが、エクアドルでは、教会の単位で活動をしています。ホームステイ先の家族と教会に通い、教会の様々な活動に参加する中で、エクアドルの人たちの考え方や、物事の捉え方を知ることができています。私も、教会の活動の一つとして、折り紙教室を開いています。



月に一回、日本を紹介する通信を書いて、教会の掲示板に貼っています。4月は、日本では4月から新学期が始まること（エクアドル新学期が9月から始まる）や桜の事について書きました。

エクアドルは日本から遠い国ですが、エクアドルでも、日本のアニメは人気で、テレビでは、スペイン語版の「ドラえもん」や「ドラゴンボール」をやっています。学校へ行くと「ドラえもんの歌を歌ってほしい」と頼まれることもあります。また、高学年になると「地震や津波の後、大丈夫か。」「もう回復したのか。」等の質問を受けることもあります。

日本の子どもたちにも、ぜひエクアドルのことを知ってもらいたいなあと感じています。この通信が少しでもその手助けになればと思っています。

次回は、8月の予定です。楽しみにしててくださいね。Hasta luego!（それでは、また!）